



2027年1月期 第2四半期 決算説明会 補足資料

株式会社シーイーシー | 9692 | 2026年9月10日

Agenda

目次

1 2027年1月期 第2四半期 経営成績

2 2027年1月期 業績見通し

3 Appendix

2027年1月期 第2四半期 業績概要

- システム・インフラ構築事業およびセキュリティサービス事業が伸長
- 前年同期比で売上高は+13.7%、営業利益は+20.5%となり過去最高を更新
- 受注高は既存ベース（大型案件を除く）で前年同期比+20.5%

2027年1月期 業績見通し

- 旺盛なDX需要を取り込み、通期業績予想を上方修正
- 中長期的な企業価値向上を目指し、成長投資は計画通り推進

株主還元

- 中間配当を増配、今後も継続的かつ安定的な利益還元を優先課題として推進
- 総額20億円を上限とする自己株式を取得、期末に取得分を消却予定

2027年1月期 第2四半期 経営成績

- 売上高・各利益ともに前年同期比で二桁伸長と堅調に推移
- 営業利益はインフラ構築案件およびセキュリティ自社製品が牽引

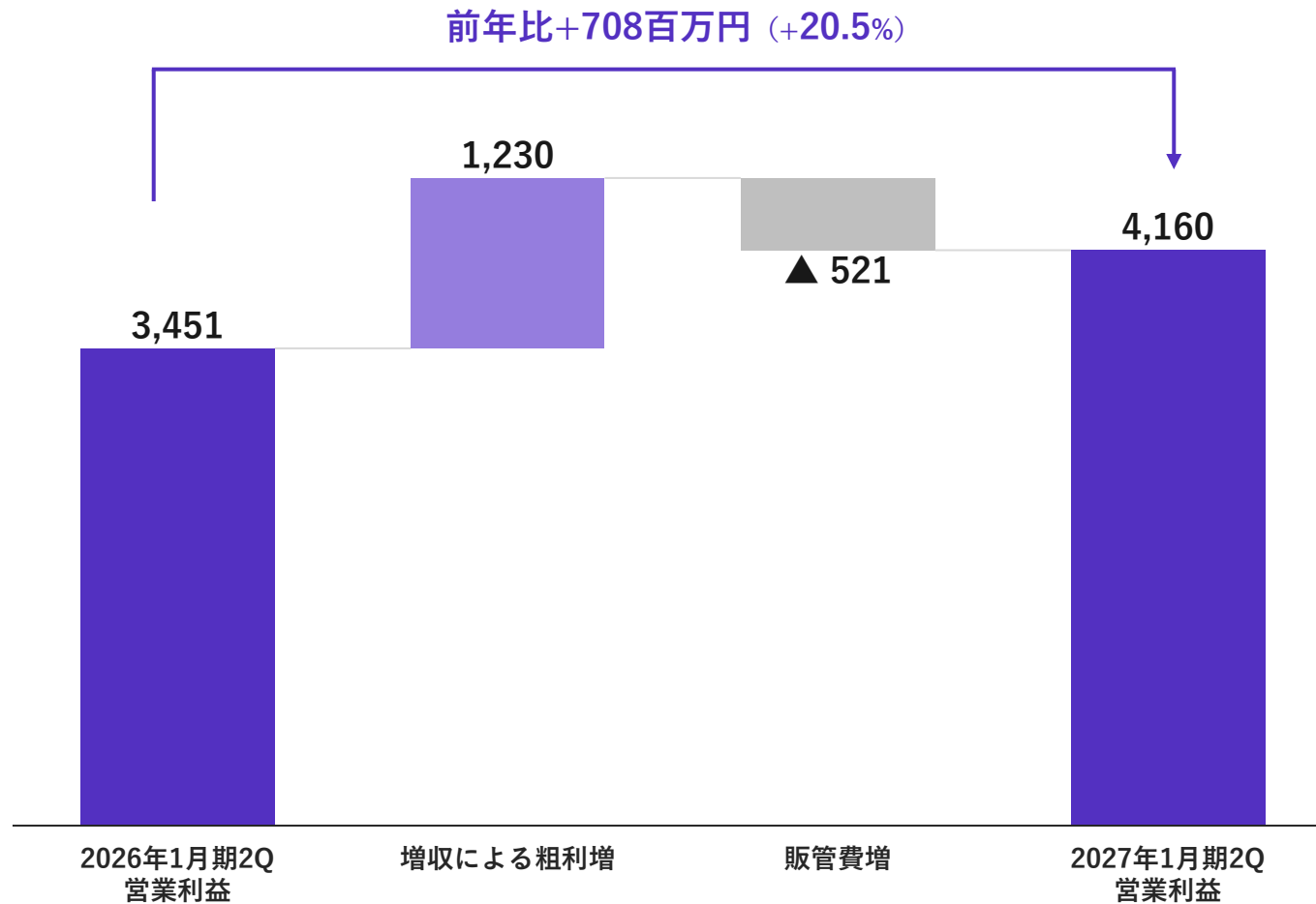
(単位：百万円)

	2026年1月期 2Q累計	2027年1月期 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	30,843	 35,080	+4,236	+ 13.7%
売上総利益/同率	8,130/26.4%	 9,360/26.7%	+1,230/+0.3pt	+15.1%
販売費及び一般 管理費	4,678/15.2%	5,199/14.8%	+521/▲0.4pt	+11.1%
営業利益/同率	3,451/11.2%	 4,160/11.9%	+708/+0.7pt	+ 20.5%
経常利益/同率	3,516/11.4%	 4,234/12.1%	+718/+0.7pt	+ 20.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益/同率	2,384/7.7%	2,883/8.2%	+498/+0.5pt	+ 20.9%
受注高	42,861	38,989	▲3,871	▲9.0%
受注残高	28,181	26,861	▲1,320	▲4.7%

 : 過去最高

– 成長投資は一部計画の遅れはあるものの、人材投資を中心に着実に進捗

(単位：百万円)



販管費
(+521百万円)
(うち、成長投資 +447百万円)

主な販管費の内訳

- ・人材投資に係る費用の増加 +401百万円
- ・就業環境改善に伴う費用の増加 +131百万円
- ・研究開発費の減少 ▲85百万円
- ・その他（のれん、事業税、他） +74百万円

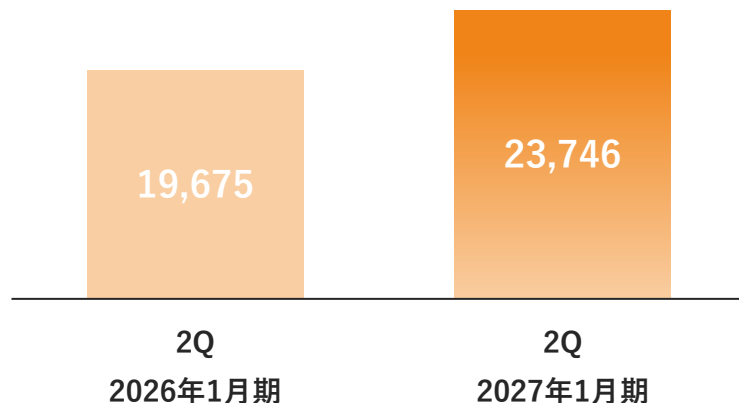
(単位：百万円)

	2026年1月期/2Q		2027年1月期/2Q		増減額	
	売上高	セグメント利益 /率	売上高	セグメント利益 /率	売上高 (増減率)	セグメント利益 (増減率)
インテグレーション	19,675	4,167 21.2%	23,746	4,976 21.0%	+ 4,071 (+ 20.7%)	+ 808 (+ 19.4%)
コネクティッド	5,945	1,167 19.6%	5,946	1,228 20.7%	+ 1 (+ 0.0%)	+60 (+5.2%)
ソリューション	5,223	901 17.3%	5,386	1,321 24.5%	+ 163 (+ 3.1%)	+419 (+46.6%)
全社費用※	—	▲2,784	—	▲3,365	—	▲580
合計	30,843	3,451 11.2%	35,080	4,160 11.9%	+ 4,236 (+ 13.7%)	+708 (+20.5%)

※全社費用とは、全社販管費から主に営業活動に係る費用を差し引いたもの

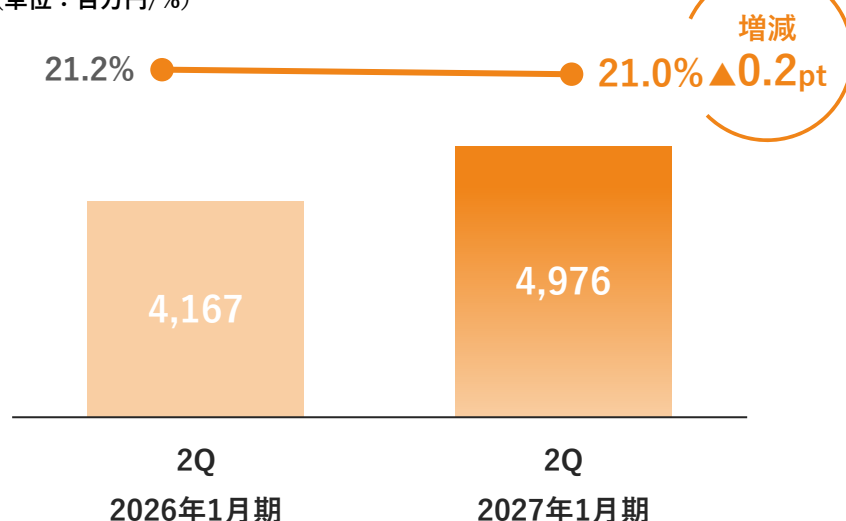
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益/同率

(単位：百万円/%)



＋：増加 土：横ばい －：減少

売上高

前年比 + **4,071** 百万円 + **20.7** %

注力

(+) **マイグレーションサービス事業**は、前期実施のレガシーマイグレーション案件施策が結実し、二桁伸長

(±) マイクロソフトサービス事業はD365が谷間となるも、M365の構築案件が増加し前期並み

(+) システム・インフラ構築事業のシステム開発は自動車産業向け基幹システム開発が堅調
インフラ構築は前期に引き続き官公庁向け大型案件が牽引

セグメント利益

前年比 + **808** 百万円 + **19.4** %

(+) 増収に伴う増益

(+) システム開発・インフラ構築事業での収益性改善に伴い利益拡大

- 官公庁向け大型インフラ案件※は計画通り着実に進捗
- インテグレーション売上高も同案件を除き前年同期比+14.0%増と堅調

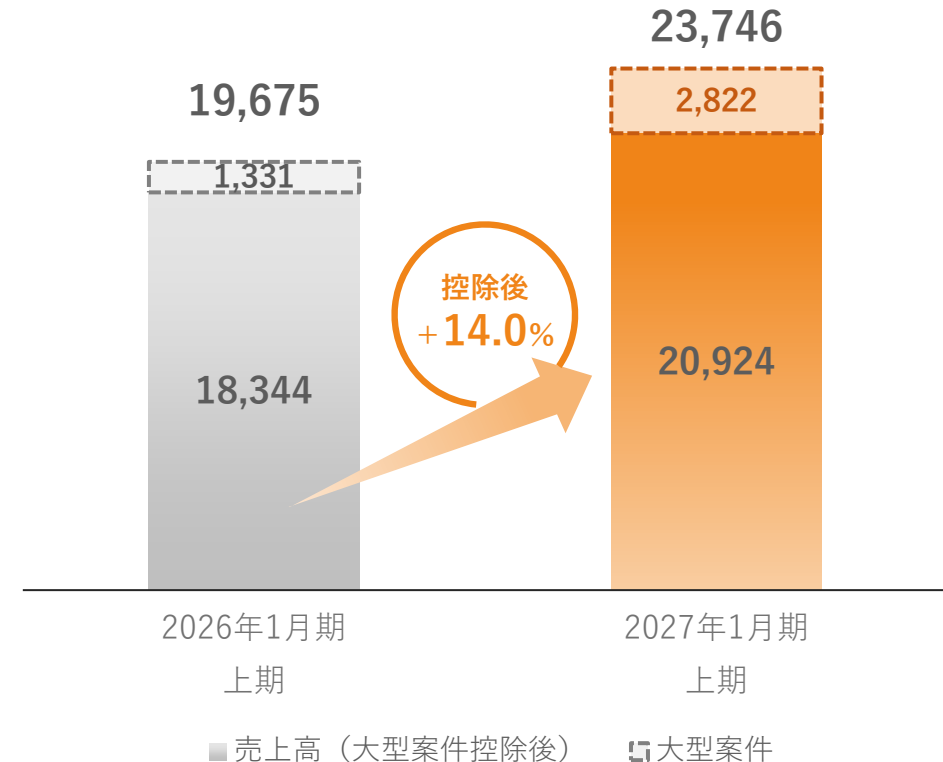
売上計上時期/額



※ ネットワーク機器を含む官公庁向け大型案件

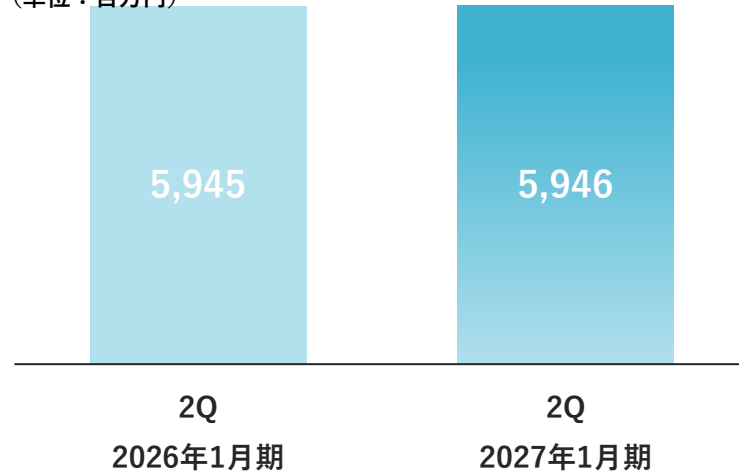
売上高（大型案件除く/含む）

※点線部が大型案件分。増減率は大型案件控除後ベース（単位：百万円）
（大型案件含むベースは+20.7%）



売上高

(単位：百万円)



+ : 増加 ± : 横ばい - : 減少

売上高

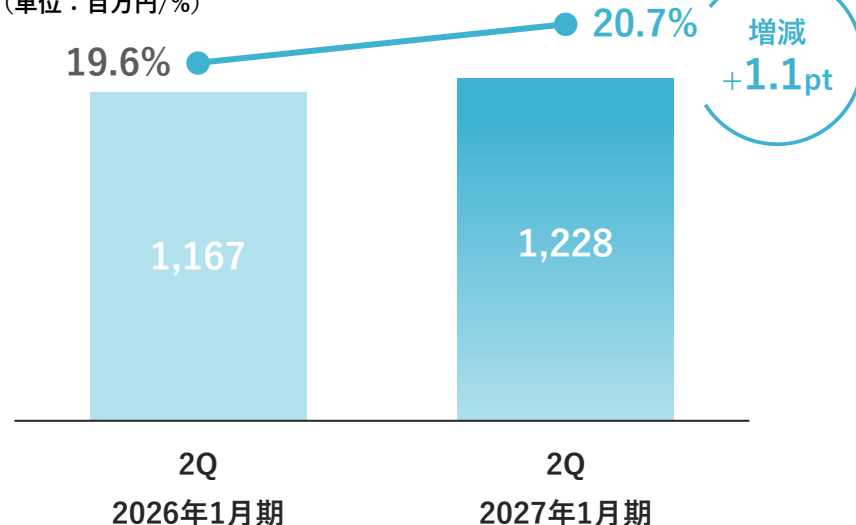
前年比 + **1** 百万円 + **0.0** %

注力

- (+) **データマネタイゼーション事業**はビッグデータ分析基盤構築が牽引し伸長
- (±) クラウドサービス開発事業はEV関連案件が減少も、クラウド需要が下支えし前期並み
- (±) 制御シミュレーション事業はFA制御開発が谷間も、車載制御開発が伸長し前期並み
- (-) 品質マネジメント事業は、AI活用した次世代検証の需要が増加も、EV関連案件の減少に伴い減収

セグメント利益/同率

(単位：百万円/%)



セグメント利益

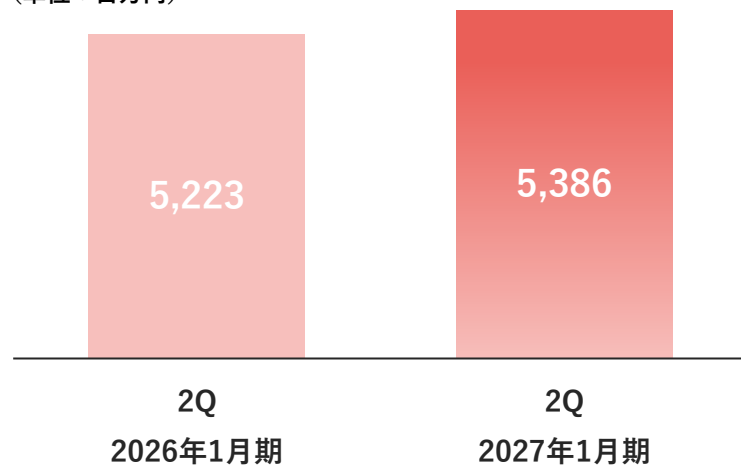
前年比 + **60** 百万円 + **5.2** %

- (+) 利益率の高いデータマネタイゼーション事業の伸長
- (+) 開発案件での継続的な生産性向上策の実施により利益率改善

売上高

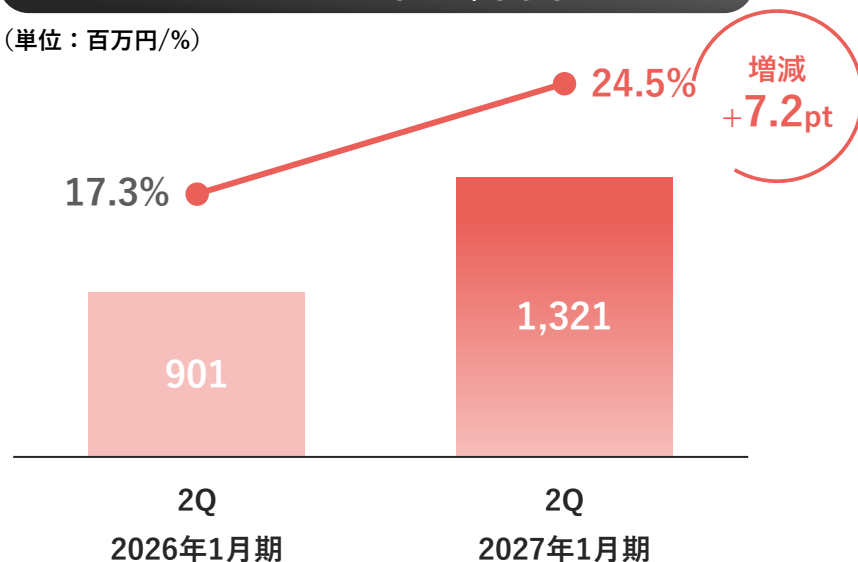
(単位：百万円)

＋：増加 土：横ばい －：減少



セグメント利益/同率

(単位：百万円/%)



売上高

前年比 + **163** 百万円 + **3.1** %

注力

- (+) **セキュリティサービス事業**は自社製品「SmartSESAME」の大型商談を獲得し、セグメント業績を牽引
- (-) データセンター事業は受注伸長も、事業再編のプロセスに伴う一部契約終了や、新規契約獲得の遅れにより減収
- (+) 業界特化型ソリューションはヘルスケア向け大型商談獲得により堅調

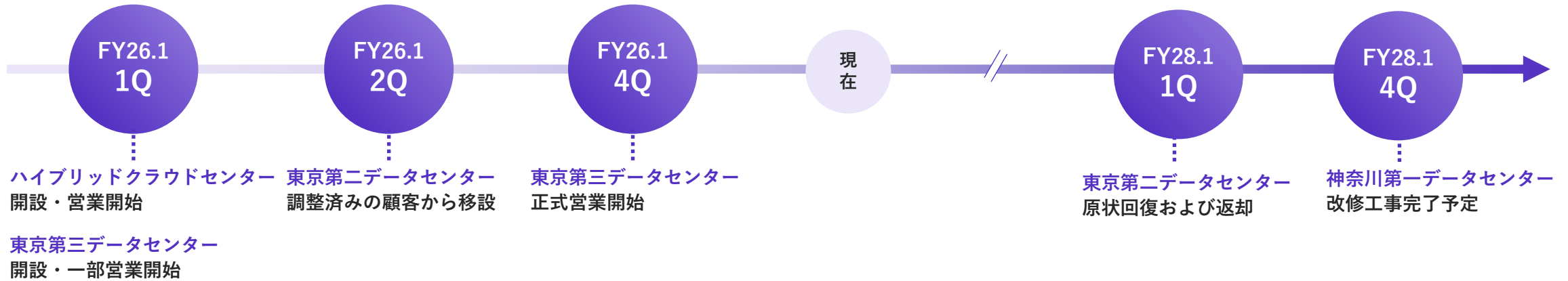
セグメント利益

前年比 + **419** 百万円 + **46.6** %

- (+) 増収に伴う増益
- (+) 自社製品「SmartSESAME」の拡販により、利益伸長
- (-) データセンター移設期間により、新旧データセンターの運営費用が重複発生

－ 2年目（2027年1月期）は投資ピークの見込み。中期経営計画期間内の投資計画に変更なし

移設・拡充状況



投資状況

設備投資

0.8億円(実績) / 1.4億円(通期計画)

- 資材不足等の影響により投資実行は一部下期へ

移設費用

0.1億円(実績) / 2.0億円(通期計画)

- 工期の延伸により移設ピークは下期へ

注力事業		2027年1月期 2Q累計	2027年1月期 目標値	進捗率	2026年1月期 2Q累計	前年同期比
インテグレーション コネクティッド ソリューション	マイグレーションサービス	2,409百万円	4,600百万円	52.4%	1,934百万円	+24.5%
	データマネタイゼーション	1,638百万円	3,500百万円	46.8%	1,507百万円	+8.6%
	セキュリティサービス	3,077百万円	6,000百万円	51.3%	3,012百万円	+2.2%
全社推進	クラウドサービス	10,253百万円	19,000百万円	54.0%	8,734百万円	+17.4%

	インテグレーション	コネクティッド	ソリューション
受注高 (百万円)	30,987 Δ21.7% 24,262 16,974 14,013 8,536 15,726 2026年1月期2Q 2027年1月期2Q	6,055 Δ0.9% 5,999 2,879 3,176 2,660 3,338 2026年1月期2Q 2027年1月期2Q	5,817 +50.0% 8,727 2,921 2,896 3,570 5,156 2026年1月期2Q 2027年1月期2Q
受注残高 (百万円)	19,872 Δ23.3% 15,232 2026年1月期2Q 2027年1月期2Q	2,430 Δ0.4% 2,420 2026年1月期2Q 2027年1月期2Q	5,878 +56.7% 9,208 2026年1月期2Q 2027年1月期2Q
ポイント	官公庁向け大型案件の反動減があるも、大型案件を除くと受注高18.3%増	ビッグデータ分析基盤構築は伸長も、EV関連案件の終了に伴い前年並み	セキュリティサービス事業の伸長により、前年同期比で増加

(単位：百万円)

	2026年1月期 2Q累計	2027年1月期 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
製 造 業 (構 成 比)	11,467 (37.2%)	12,081 (34.4%)	+614	+5.4%
通 信・情サビ業 (構 成 比)	6,062 (19.7%)	6,986 (19.9%)	+924	+15.3%
金 融 業 (構 成 比)	2,951 (9.6%)	3,220 (9.2%)	+269	+9.1%
流 通 業 (構 成 比)	1,837 (6.0%)	2,542 (7.2%)	+704	+38.4%
官 公 庁 (構 成 比)	5,135 (16.6%)	7,244 (20.6%)	+2,109	+41.1%
そ の 他 (構 成 比)	3,390 (10.9%)	3,004 (8.7%)	▲386	▲11.4%
合 計	30,843 (100%)	35,080 (100%)	+4,236	+13.7%

業種別のポイント
【製 造】 自動車産業向け基幹システムの 開発案件が堅調
【通信・情サビ】 インフラ構築案件の増加
【金 融】 マイグレーション案件の増加
【流 通】 ヘルスケア領域で案件増加
【官 公 庁】 インフラ構築案件の増加 セキュリティ自社製品の増加

－ 総資産は前期末並みも、売上債権の回収等により現金及び預金が増加。自己資本比率は69.2%へ上昇

(単位：百万円)		2026年1月末	2026年7月末	増減額	増減率	ポイント
資産	流動資産	46,210	44,322	▲1,887	▲4.1%	減少 売上債権が減少した一方、現金預金・固定資産は増加し、総資産は微減
	内、現金及び預金	25,200	26,405	+ 1,205	+ 4.8%	
	固定資産	16,000	17,836	+ 1,835	+ 11.5%	
	資産合計	62,210	62,159	▲51	▲0.1%	
負債	流動負債	17,400	18,091	+ 690	+ 4.0%	減少 契約負債は増加したものの、買掛金の減少等により負債全体は減少
	固定負債	2,206	1,033	▲1,173	▲53.2%	
	負債合計	19,607	19,125	▲482	▲2.5%	
自己資本		42,581	43,000	+ 419	+ 1.0%	増加
自己資本比率		68.4%	69.2%	－	+ 0.8pt	自己株式取得による減少を利益剰余金の増加が上回り、純資産は増加

2027年1月期 業績見通し

– インフラ構築・マイグレーション・セキュリティの伸長が見込まれるため、**通期業績予想を上方修正**

(単位：百万円)

	2027年1月期 期初通期予想 (2026/3/12発表)	2027年1月期 修正通期予想 (2026/8/21発表)	増減額 (増減率)	2026年1月期	増減額 (増減率)
売上高	68,000	70,500	+2,500 (+3.7%)	65,882	+4,618 (+7.0%)
営業利益/同率	7,750/11.4%	8,320/11.8%	+570 (+7.4%)	7,338/11.1%	+982 (+13.4%)
経常利益/同率	7,800/11.5%	8,420/11.9%	+620 (+7.9%)	7,435/11.3%	+985 (+13.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益/同率	5,600/8.2%	5,900/8.4%	+300 (+5.4%)	5,201/7.9%	+699 (+13.4%)

事業セグメント別業績予想

2027年1月期 業績見通し

(単位：百万円)		2026年1月期 通期	2027年1月期 2Q累計	2027年1月期 通期修正予想 2026/9/10発表	増減額 (増減率)	進捗率
インテグレーション セグメント	売上高	42,953	23,746	47,000	+4,047 (+9.4%)	50.5%
	内、注力事業	4,119	2,409	4,600	+481 (+11.7%)	52.4%
	セグメント利益(同率)	8,786 (20.5%)	4,976 (21.0%)	9,860 (21.0%)	+1,074 (+12.2%)	50.5%
コネクティッド セグメント	売上高	11,837	5,946	12,200	+363 (+3.1%)	48.7%
	内、注力事業	3,073	1,638	3,500	+427 (+13.9%)	46.8%
	セグメント利益(同率)	2,284 (19.3%)	1,228 (20.7%)	2,690 (22.0%)	+406 (+17.8%)	45.7%
ソリューション セグメント	売上高	11,091	5,386	11,300	+209 (+1.9%)	47.7%
	内、注力事業	6,490	3,077	6,000	▲490 (▲7.6%)	51.3%
	セグメント利益(同率)	1,939 (17.5%)	1,321 (24.5%)	2,350 (20.8%)	+411 (+21.2%)	56.2%
全社推進事業 (クラウドサービス)	売上高	17,416	10,253	19,000	+1,584 (+9.1%)	54.0%

－ 成長投資は一部遅れはあるものの、通期で計画通り推進



人材投資

12.1億円
/ 25億円

- 給与水準向上
- 採用強化および離職抑制
- 採用強化により計画通りキャリア人材を獲得



研究開発投資

1.0億円
/ 5億円

- フィジカルAI・デジタルツインによるロボットの自律制御実証研究
- セキュリティ自社製品「SmartSESAME」のID管理における機能拡張



M&A投資

4.5億円
/ 20億円

- ディー・ディー・エス社の株式取得により、費用計上
- 下期は社内のM&A推進体制をさらに強化し、案件の早期化・執行を目指す



設備投資

7.4億円
/ 10億円

- オフィス関連投資（福岡移転・恵比寿増床）が増加
- DC移設に伴うネットワーク機器・拡充費用の増加

将来像

価値創出と持続可能な社会の実現

基本方針

人とAIが共存・協働する組織の実現

固有の強みにAI技術を掛け合わせ競争優位を確立



顧客の事業成長への貢献と当社事業領域の拡大

AI活用推進の
基本戦略

当社の強み

顧客業務を深く理解し、
実業務に適用する実装力

- 開発力
自ら開発をやり切れる確かな開発力
模倣の難しい希少な資産で、最大の競争優位
- OT領域の実績
現場の制御・運用技術（OT）に根差した知見
デジタル・フィジカルで機能するAIの実装力
- ドメイン理解
長年培った業務知見と顧客理解
AIを成果に繋げるための土台

注力するAI技術

AIと企業データを繋ぎ、
事業の成果に変える技術

- パーティカルAI
業界・業務に特化したAI活用
- エージェント型AI
自律的にタスクを遂行するAI
- フィジカルAI
現場で動き物理世界と相互作用するAI
- データインテリジェンス
データを整備・連携し、AI活用を支える基盤

価値創出

人とAIによる新たな価値創出

- 業種固有課題の解決による顧客事業成長加速
開発力 × ドメイン理解 × パーティカルAI
- 現場に根付く持続的な事業変革
OT領域実績 × パーティカルAI × フィジカルAI
- 人とAIの協働で組織の生産性と付加価値向上
ドメイン理解 × エージェント型AI × データインテリジェンス

推進機軸

① 研究開発・ナレッジの蓄積

② AI人材の育成・リスクリング

③ データ品質・ガバナンス体制の整備

④ 自社商材へのAI機能の組み込み

– 全レイヤー（アプリ層～インフラ層）で成長領域を定め、顧客価値の創出と事業領域の拡大を進める

事業基盤

成長領域

アプリケーション層

業種特化開発 | ドメイン理解と開発力による業種固有要件に応えるシステム構築

品質・運用 | 開発から運用まで、各工程での品質担保による安定稼働

◆ システム・インフラ構築事業

開発力を活かしたAI駆動開発の標準化・人材育成を推進し品質を担保できる開発プロセスとして顧客への展開

◆ マイグレーションサービス事業

業種・業務固有の要件に応えながらQCDを向上させるAI駆動モダナイゼーションサービスを開発中

データ層

データ収集（OT） | 自社商材による製造現場の精緻なデータ収集

大規模データ分析 | ペタバイト級の基盤構築技術と、収集～統合～分析の提供

データ利活用・AI実装 | 品質管理・設備保全など現場業務へのAI実装

◆ データマネタイゼーション事業

各社に最適化されたAIの実現に向け、業務知見を蓄積する基盤とガードレールを駆使しAI導入後の評価・監視を含む運用・ガバナンスまで一貫して支援

◆ 制御シミュレーション事業

OT知見とデータをAI-Ready化する技術を結び付け、AIを実機で検証する「フィジカルAI実証ラボ」を開設し、トータルソリューションの実現（Appendix参照）

インフラ層

セキュリティ | 自社商材とSOCによる商材+マネージドサービス両輪での提供

クラウド・DC | 自社DC・国内DC・パブリッククラウドでの最適提供

◆ セキュリティ事業

SOCサービスの運用知見と蓄積データを活用したパーティカルAIを構築し運用業務の効率向上・高度化

◆ データセンター事業

AIインフラ需要に対応するため、GPU/NPU基盤の整備とクラウドAIの提供

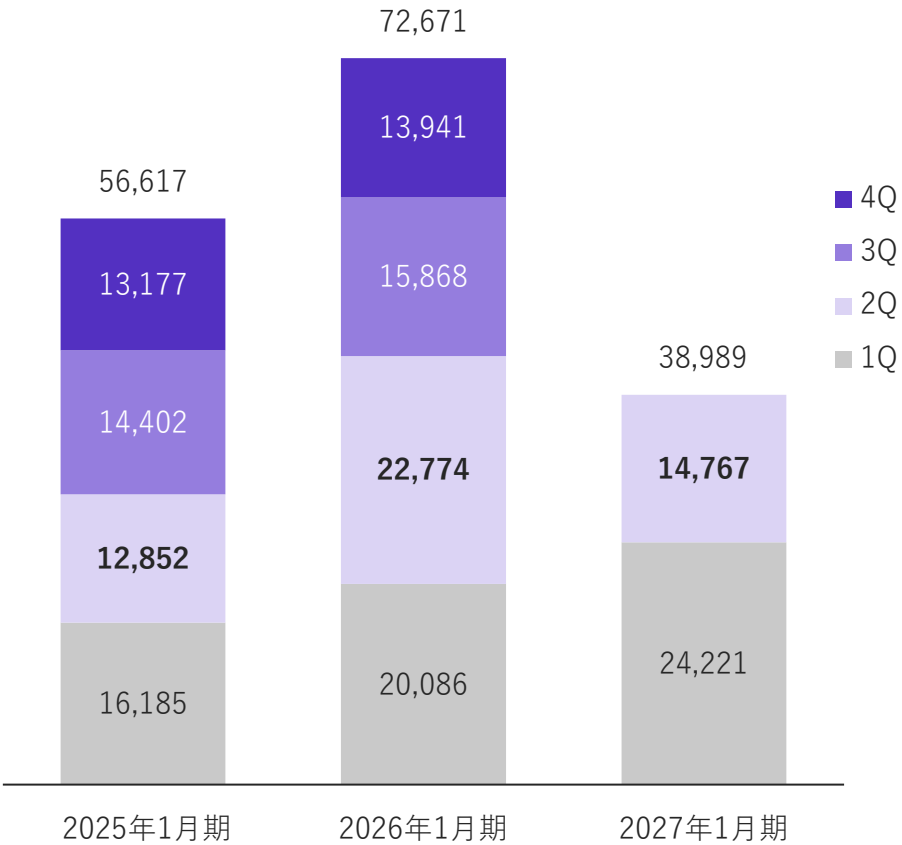
Appendix

四半期受注高・受注残高推移

受注高

(単位：百万円)

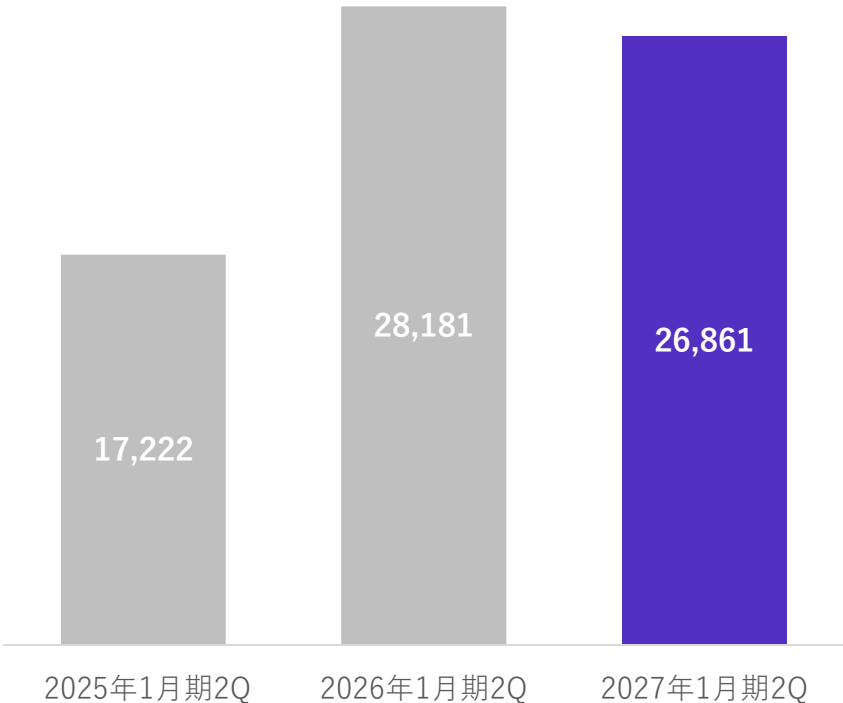
2Q対比
▲35.2%



受注残高

(単位：百万円)

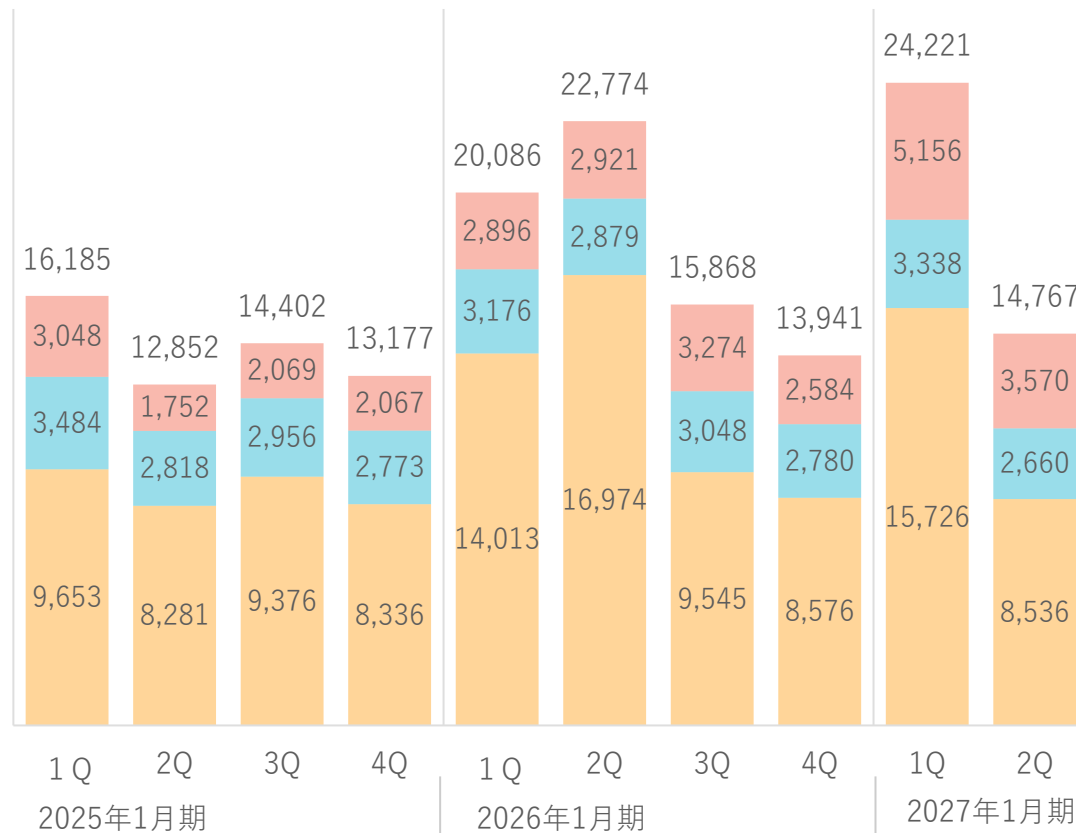
2Q対比
▲4.7%



四半期受注高・受注残高推移（セグメント別）

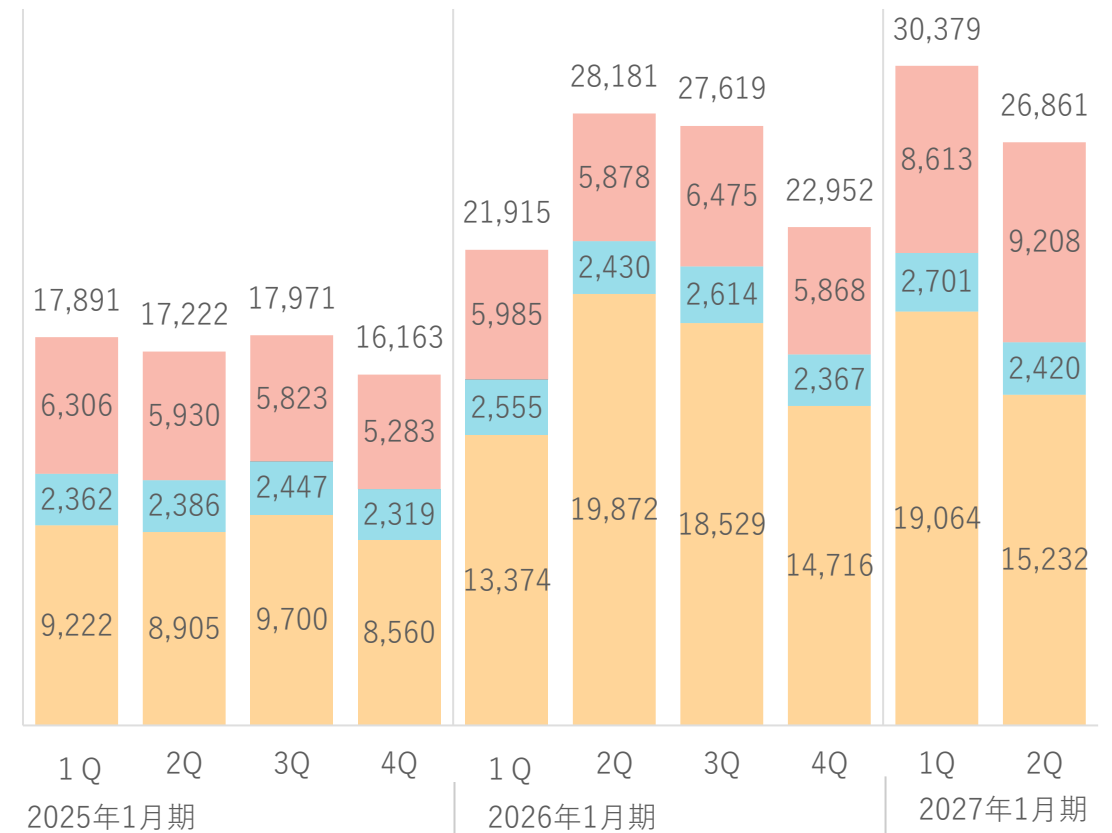
受注高

（単位：百万円）

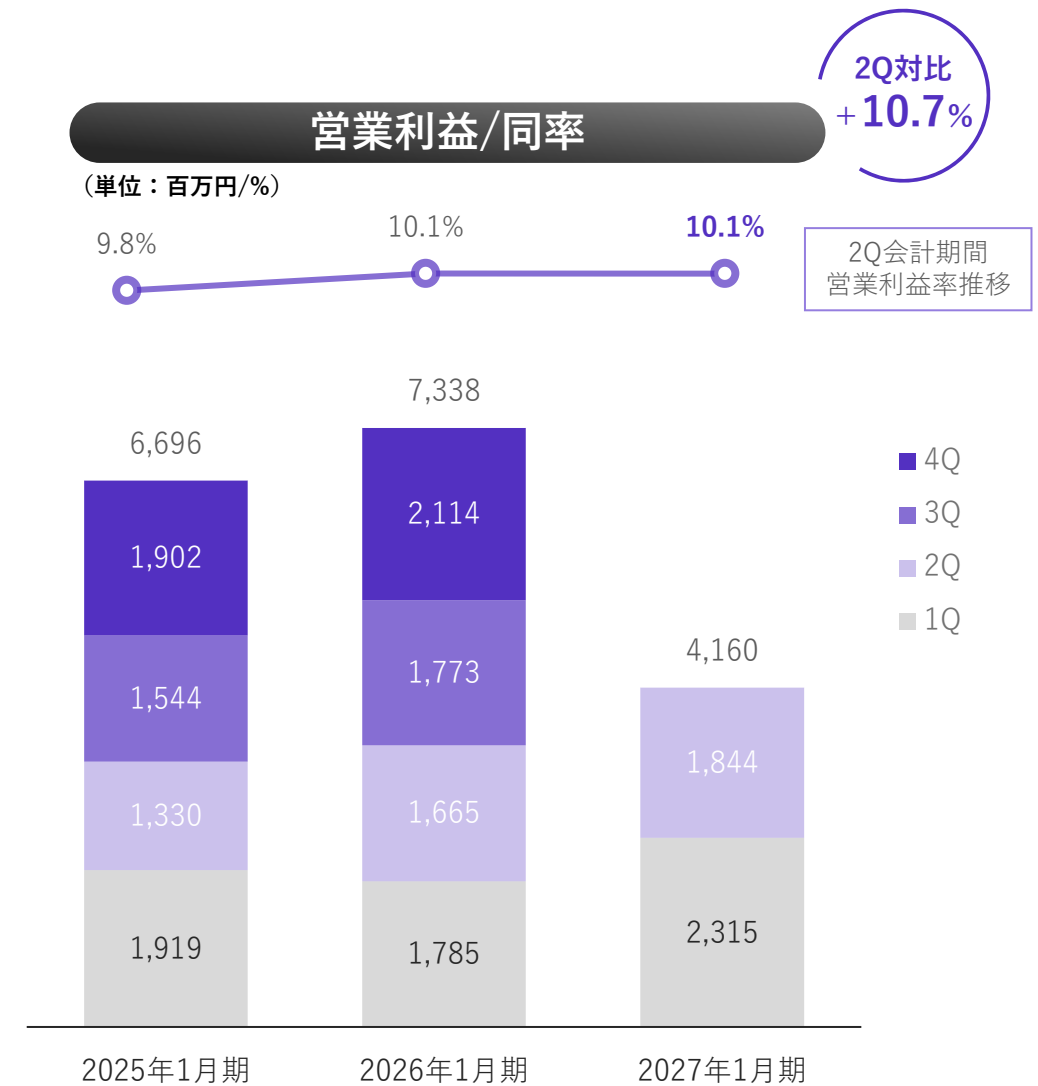
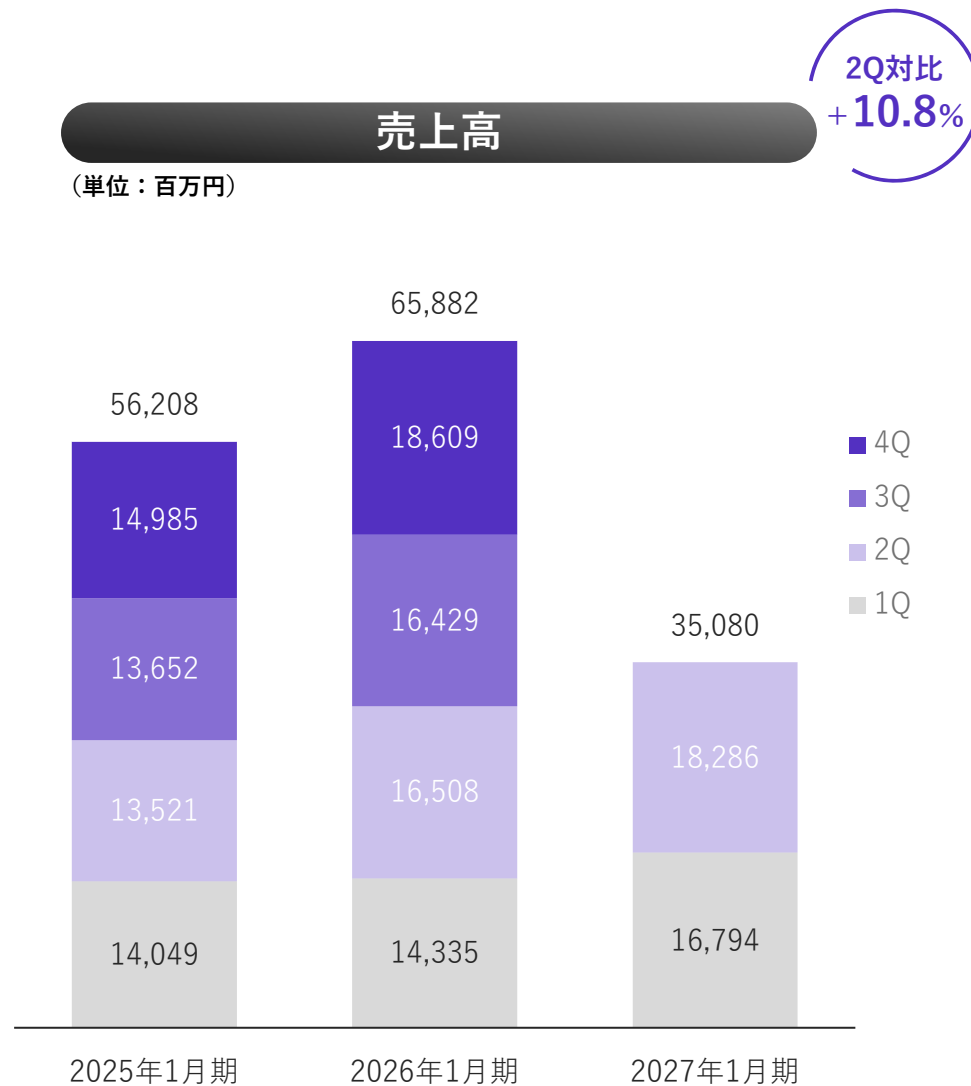


受注残高

（単位：百万円）

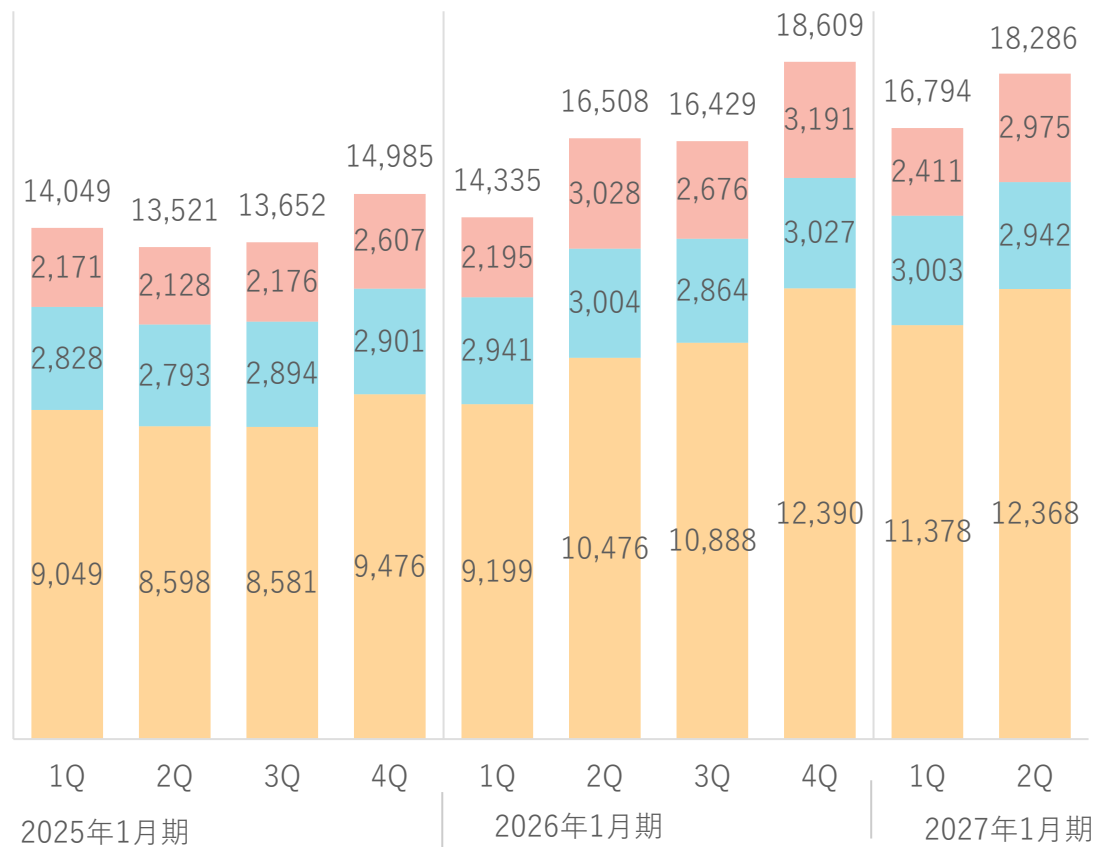


■ インテグレーション ■ コネクティッド ■ ソリューション



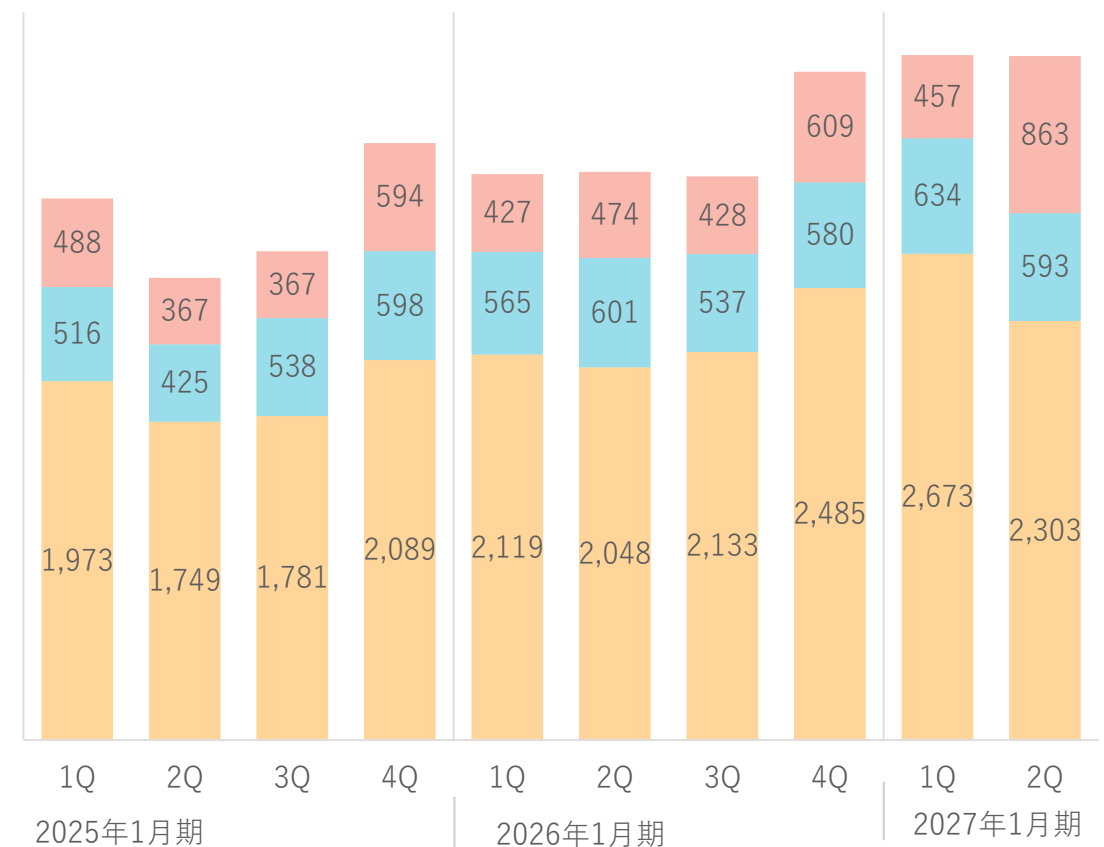
売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

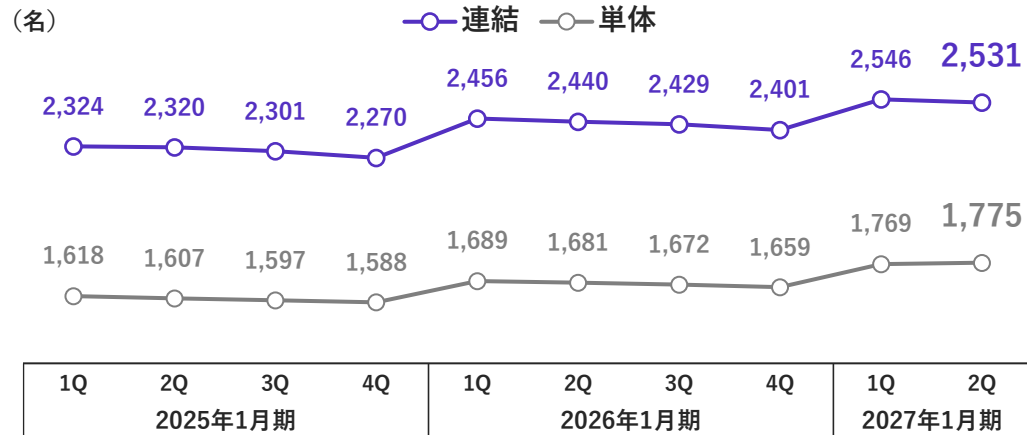
（単位：百万円）



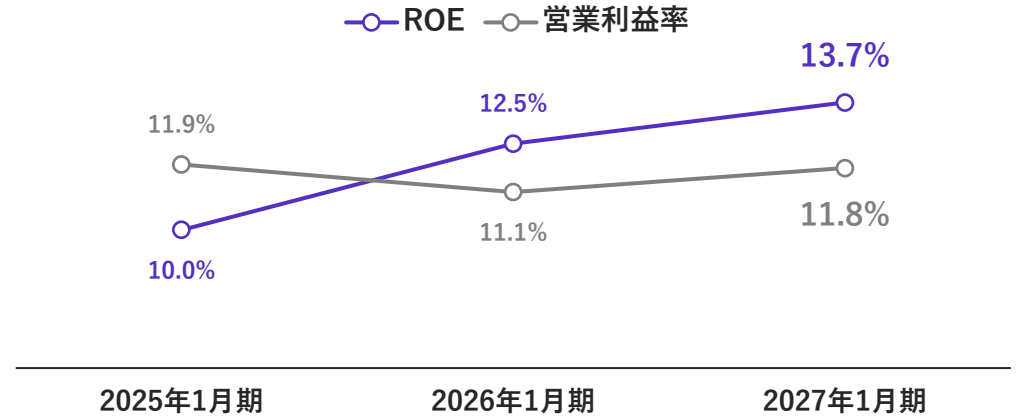
インテグレーション Connected ソリューション

その他の指標

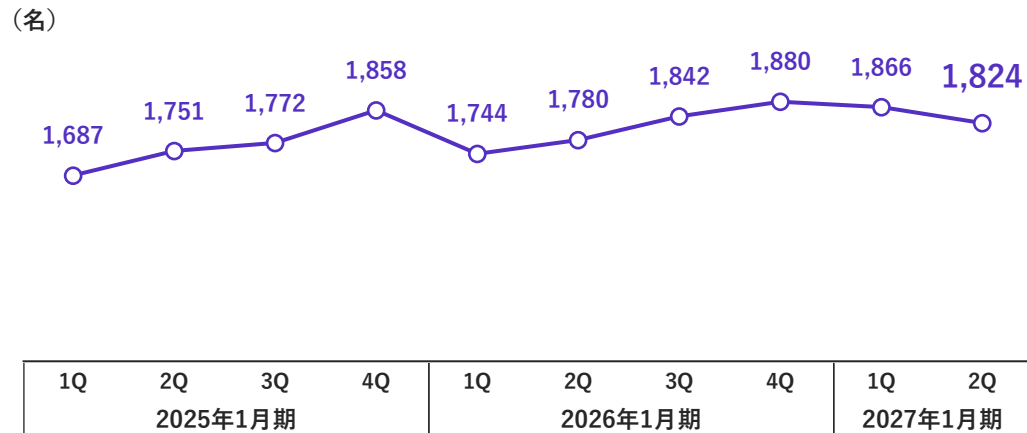
従業員数の推移



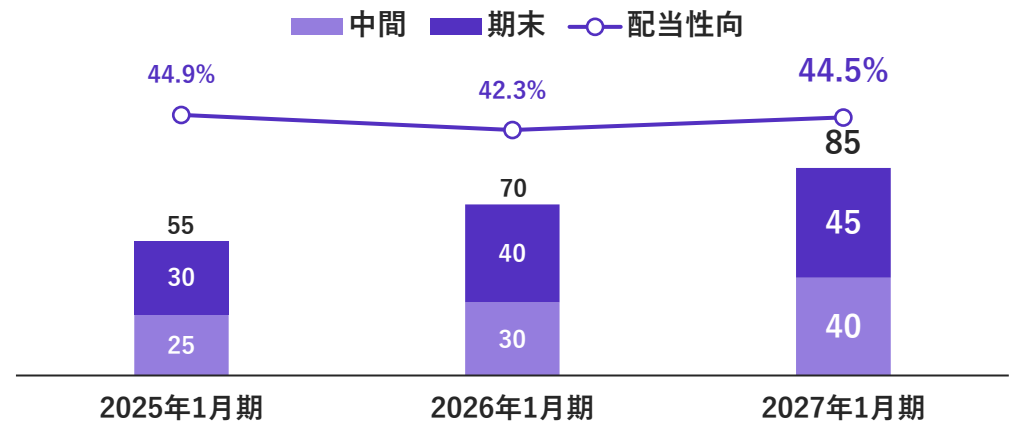
ROE・営業利益率推移



パートナー人数の推移 ※



配当性向および配当金推移



※ シーイーシー<単体> 請負契約含めず

AI事業（重点領域：フィジカルAI）

- － 製造DX分野の製品群による高精細なOT（制御・運用技術）データ収集と、データ利活用基盤「Resolana」でのデータ整備・分析を組み合わせ、フィジカルAIのトータルソリューションを実現

現場のデータ収集

製造現場の状況や
暗黙知をデジタル化



- MES/IoT（設備・工程）
- 現場映像
- 暗黙知・作業ノウハウ



Facteye®

製造現場をデジタル化する製品群

データ統合／AI-Ready化

データを一元化し
AI活用可能な状態へ



- 生産性分析
- 稼働・品質分析
- メタデータ管理・ガバナンス

Dataxia



Resolana

AIデータ活用基盤

AIによる判断・最適化

現場データをもとに
判断・計画を実行

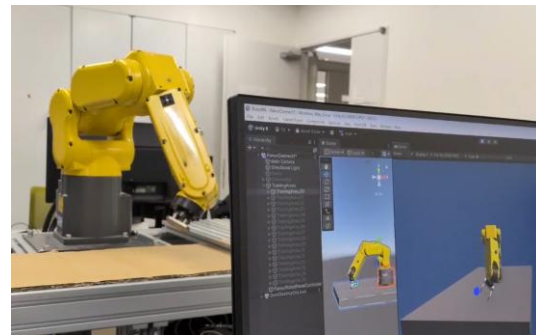


- 加工条件変更（最適化・提案）
- 故障予測・保全支援
- 生産再計画

AIエージェント

フィジカルAIによる実行

AIの判断を
物理世界で忠実に再現



実機検証（現場でのロボット制御）

－ 製造業向けのフィジカルAI実装実証拠点として「フィジカルAI実証ラボ」を開設



設立の背景

- AI×ロボティクスの導入は、環境構築や技術習得の負担からPoC（概念実証）止まりになるケースが多発している
- 本格実装への移行には、先端技術を組み合わせた迅速な検証環境とエコシステムの整備が不可欠である

「フィジカルAI実証ラボ」の概要

- スマートファクトリー事業のノウハウと最新AI環境を統合した新たな実証拠点とする
- AI学習基盤、シミュレーション用インフラ、エッジAIデバイスを社内に構築し、協働ロボットによる実機検証を行う

実現できること

- **開発から実機検証までの一貫対応**
仮想空間でのロボット学習データ作成・拡張から、実機でのピック＆プレイス作業までシームレスに実現
- **仮想から実機へのスムーズな連動**
生成AIで作成したTP（Teaching pendant）プログラムを仮想空間で繰り返し検証し、そのまま実機ロボットと連動させて動作実行が可能

車載システム開発の効率化ニーズに応え、解析工数を約70%削減する『Connected SynQuest』を提供開始

自動運転やSDV（ソフトウェア定義車両）の普及を背景に高まる開発効率化ニーズに対応し、車載システム開発向け時系列データ統合モニタリングツール『Connected SynQuest』の提供を開始しました
走行テストデータの収集・同期を自動化することで開発現場の生産性向上を支援し、自動車分野で培った技術・知見を活かした事業領域の拡大を目指します

詳しくはこちら

<https://www.cec-ltd.co.jp/news/2026/7351.html>



ID・認証分野での事業拡大を見据え、統合多要素認証基盤『SmartSESAME Cloud UniPass』を提供開始

サイバー攻撃の高度化や各種セキュリティガイドラインへの対応を背景に、多要素認証の需要が拡大しています
当社は長年培ってきたID・認証分野のノウハウを活かし、クラウド型認証サービス領域へ展開することで、教育・医療・自治体・民間企業など、幅広い市場での事業拡大を目指します

詳しくはこちら

<https://www.cec-ltd.co.jp/news/2026/7354.html>



情報システムの企画・コンサルティング・アプリケーション開発を活用し、顧客業務のICT全般をトータル提供

	事業概要	強み
注力事業 マイグレーションサービス事業	● 企業のDX実現のための、インフラストラクチャー（メインフレーム/オフコン/仮想化基盤）およびアプリケーションのマイグレーション・モダナイゼーションに関連するサービス提供	✓ インフラからアプリケーションまで対応可能 ✓ レガシー（メインフレームやオフコン）からオープンレガシーまで対応可能 ✓ マルチアーキテクチャー、マルチベンダー、マルチプラットフォームの対応が可能 ✓ 豊富なノウハウ×自動化ツール×専門技術者 ✓ コンサルティング、開発、保守/運用までトータルサポート
マイクロソフトサービス事業	● マイクロソフト クラウドサービス（Dynamics 365、Microsoft 365、Power Platform、Azureなど）の導入コンサル・システム開発・保守運用業務	✓ 基本機能を強化する豊富な独自テンプレート ✓ 他クラウドサービスとの連携もサポート ✓ 導入相談から運用支援、定着支援までトータルサポート ✓ 蓄積されたノウハウ・高い技術力・豊富な実績
システム・インフラ構築事業	● 官公庁、自治体向け、銀行・保険・証券など金融分野向けシステム開発・保守運用業務 ● ICT インフラおよびクラウドサービスの企画検討から、設計・構築・移行・運用までライフサイクルマネジメント全般に関する業務 ● クラウドサービスを活用したコンサルティング・インテグレーションの提供 ● 自動車産業を対象とする技術情報部門、企業情報部門や人事・生産物流向けのICTサービス全般を提供	✓ 創業期からの直接取引による信頼関係 ✓ 官公庁、自治体向けの開発実績 ✓ 豊富な業務経験からくるレガシーシステムの知見 ✓ ICTインフラの設計・構築・移行・運用までワンストップ対応力 ✓ 大手自動車メーカーとの繋がりや業務ノウハウ
グループ会社	● ニアショア開発・構築・保守運用業務 ● 人材派遣サービス	✓ 大手企業との繋がりや業務ノウハウ

コネクティッドセグメント

クラウドと連携する IoT システムの開発や、データの分析や利活用を支援する製品・サービスの提供

	事業概要	強み
注力事業 データマネタイゼーション事業	● AI・データ戦略の立案、AI エージェント構築、データ基盤構築、AIOpsに関する業務 ● データ分析・データ利活用に関する業務 ● AI・データ利活用に関する ICT 製品/サービスの提供	✓ ペタバイト級の大量データの分析基盤構築技術を保有 ✓ 工場 IoT 向けの独自のデータ収集基盤製品を保有 ✓ モビリティや製造現場の専門知識を持つエンジニアが多数在籍
クラウドサービス開発事業	● クラウドサービス、スマホアプリを対象としたソフトウェア開発・運用に関する業務 ● DevOps を支援する ICT 製品/サービスの提供	✓ AWS Well-Architected パートナーとして、クラウドや AI など専門知識を持つエンジニアが多数在籍 ✓ クラウドの運用保守までワンストップで対応可能 ✓ DevOps や自動テストを支援する商品ラインアップが豊富
制御シミュレーション事業	● エッジデバイスを対象とした組み込みソフトウェア開発に関する業務 ● シミュレーションやフィジカルAIに関する業務や ICT 製品/サービスの提供 ● 工場 IoT 向けの ICT 製品やデータ収集基盤製品/サービスの提供	✓ 車両制御や工作機械の専門知識を持つエンジニアが多数在籍 ✓ 工場 IoT を支援する商品ラインアップが豊富
品質マネジメント事業	● IoT システム全体のソフトウェア品質に関する業務 ● ソフトウェア品質向上に関する ICT 製品/サービスの提供	✓ 品質検証技術の専門知識を持つエンジニアが多数在籍 ✓ デバイス、クラウドだけでなく IoT システム全域に関する品質マネジメントができる
グループ会社	● 情報システムに関する構築、導入、保守、運用、ならびにパッケージ販売	✓ 大手企業との繋がりや業務ノウハウ

ソリューションセグメント

■ 高度なセキュリティ技術と堅牢なデータセンターサービスを活用し、公共、文教、物流、医療、ヘルスケアなど多様な分野に対応したソリューションを提供

	事業概要	強み
注力事業 セキュリティ サービス事業	● サービス系（Cyber NEXT）：コンサルティング、診断、インテグレーション、監視・運用業務などのセキュリティソリューションを総合的に提供 ● 製品系（SmartSESAME）：認証技術を基盤としたオフィスセキュリティに関する製品開発・販売、ソリューションサービス、システム開発・保守・運用業務	✓ サービス系：マルチベンダー対応、対応領域・範囲の広さ ✓ 製品系：マルチメーカー対応、全国の販売チャネル保有自治体導入1,000団体以上の実績
データセンター事業	● クラウドサービス、データセンターサービス、ネットワークサービスのサービス企画・開発・運営 ● システム運用設計、導入支援、運用管理サービスの提供	✓ 24時間365日有人による監視・運用 ✓ メガクラウドと低遅延・高速接続によるマルチクラウド ✓ データの国内保管によるデータ主権の確保 ✓ 100%グリーン電力採用
業界特化型 ソリューション	● 物流・製造・公共（自治体含む）領域の業務改善に向けた商品の企画・開発・保守・運用業務・製品サービスの提供 ● 医療機器・ヘルスケア分野向けにクラウド技術を活用した商品の企画・開発・保守・導入・運用・製品サービス提供	✓ 顧客ニーズ（運用）に適した物流サービスの提供 ✓ 空港、製造工場などの特殊案件に対する導入実績 ✓ 業界に特化した知見やノウハウを活用したサービス群

名 称	株式会社シーイーシー Computer Engineering & Consulting Ltd.
設立年月日	1968年2月24日
上場取引所	2022年4月（プライム市場） 2001年7月（東証一部）
資本金	65億8千6百万円
売上高	658億8千2百万円（2026年1月期）
各種許認可	■経済産業省システム監査企業台帳登録企業 ■経済産業省情報セキュリティサービス台帳登録企業 ■プライバシーマーク認定事業者11820032（14） ■JQA認定 ・品質マネジメントシステム ISO9001:2015（登録証番号JQA-1481） ・情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27001（登録証番号JQA-IM0007） ・クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27017（登録証番号JQA-IC0040） ・ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC20000（登録証番号JQA-IT0005） ・環境マネジメントシステム ISO14001:2015（登録証番号JQA-EM7701） ■電気通信工事業 国土交通大臣（般-4）第28700号 （許可年月日：2022年11月21日）

従業員数	2,531名（2026年7月31日現在）
連結子会社	8社
本社事務所	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル
代表者	代表取締役社長 姫野 貴
事業内容	

■インテグレーションセグメント

従来のシステム開発を中心に、情報システムの企画からインフラ設計・構築、運用まで、ICT全般をワンストップで提供

■コネクティッドセグメント

モビリティ分野やスマートファクトリー分野でのシステム開発や、デジタルデータを分析・活用したサービスを提供

■ソリューションセグメント

セキュリティ技術とデータセンターを活用し、多様な分野へ自社製品・サービスを提供



免責事項

- ◆ 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ◆ 本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断および仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 本資料の記載内容は、当社の許諾を得ずに複製または転記、転載等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社シーイーシー

コーポレートグループ 管理本部 経営戦略室 IR担当

☎ 03-5789-2442

コーポレートグループ 管理本部 財務経理部

☎ 03-5789-2441

✉ IR@cec-ltd.co.jp